

地域・家庭と
共に子供を育てる

特色ある教育活動

川上ブランド

「読書指導・食農教育・英語活動・ICT活用」

食農教育の歴史 その②

川上小学校の食農教育の主な場となっているのは学校田と学校農園です。学校田での餅米づくりは、農業指導員の田淵さんが中心となり、地域の方々のたくさんの協力を得て成り立っています。子供たちは、この取組を通して、地域の方々の愛情もたっぷりもらい、米づくり体験をします。“種から食べるまで”が合い言葉の川上小では、最後に餅をつくってみんなで食べます。

1 粳蒔き



5月27日 粳蒔き

初体験の1年生は、5・6年生といっしょに粳をまきました。

2 田植え



6月14日 田植え

学校で育てた苗を学校田に運び、全校児童で田植えをします。田植えには、地域の方々も応援にきてくださいます。

3 (記念撮影)



地域の方々と記念撮影

活動のあとに、みんなで記念撮影

4 稲刈り



10月12日 稲刈り

高学年と低・中学年がペアになって、稲を刈ります。地域の方の手伝いをいただきます。

5 脱穀



10月28日 脱穀

今年は雨で1度延期になった脱穀作業でしたが、土日ははさみ、無事実施できました。

6 もちまるめ大会



11月1日 もちまるめ大会【差し替え予定】

県民週間。もちつきの機械をつかって餅をつくります。みんなでまるめて、食べます。

7 感謝



地域の方から
心づくし

農業指導の田淵さんは作業後のふれあいもとても大切にされています。